

# ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



## 2018～2019 年度 大宮西ロータリークラブ週報



創立：1963年3月22日 会長 新井 清太 第2578例会 2018/11/ 5  
例会場：パレスホテル大宮 幹事 新藤 栄介 発行日 2018/11/19  
例会日：月曜日 12:30～13:30 公共イメージ向上委員会 川井 理砂子 週報当番 川井 理砂子

## 会長あいさつ

### 「地区大会」

会長 新井 清太

先月27日の「第6回ピンクリボンライトアップ点灯式」には、多数の方にご出席頂き誠にありがとうございました。お陰様をもちまして成功裡に終えることができました。厚く御礼申し上げます。



また、同日開催のろう学園「のぼら祭」におきまして多くのバザー品をご提供頂きましたこと重ねて御礼申し上げます。

さて、今月は何と申しましても国際ロータリー第2770地区の地区大会で御座います。先日若い会員の方に地区大会がどのようなものか、またその位置づけがよく分からないとのお話を頂きました。ともすると会長幹事、地区役員という役職に就いている人が対象でそれらの人が参加するものと思われるかもしれませんが、参加対象は地区内のロータリアン全員であり、皆様に参加資格がありますし出席義務も御座います。特に2日目の午後には地区内全クラブのクラブ紹介の時間がありますので、必ずご参加頂くことをお願い申し上げ会長挨拶と致します。どうぞ宜しくお願い致します。

## ロータリーの目的・4つのテスト

<本日のリーダー>

国際奉仕委員長

永井 博 会員

## 米山奨学生紹介 伊田 雄二郎 副会長

米山記念奨学生

ムハマド・ナジム・ムハマド・シュクリ 君

## 幹事報告

幹事

新藤 栄介 会員



- マイロータリーの登録率が5%上がって42%になりました。
- 今週末の地区大会2日目の第二本会議で歌手の八神純子さんの記念講演&公演が一般の方の入場も可能となりました。チケットがありますのでご家族・ご友人などお連れしたい方はお申し出ください。
- 本日の例会は、三名の会員にイニシエーションスピーチをお願いしています。
- 次週12日(月)は地区大会の振替休日のため、例会はございません。次回の例会は19日(月)、財団担当例会でゲスト卓話を予定しております。
- 11月のロータリーレートは1ドル112円です。

## ロータリーの旅を楽しもう！

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: <http://rc-omiya-west.com/>



## 委員長報告

社会奉仕委員会 委員長  
荒井 理人 会員



- ・ピョンクボンライトアップ 点灯式  
来場者 521 名 会員 58 名参加  
埼玉県検診率 40%超え
- ・大宮ろう学園「のぼら祭」  
バザー品提供による収益 64,730 円

## 米山功労者感謝状 授与

- 第 14 回 藤池誠治
- 第 8 回 新藤耕四郎、齋藤 實
- 第 7 回 渋谷廣慶
- 第 6 回 大竹庄藏、木本栄一
- 第 3 回 福田和子
- 第 2 回 小沢 孝、伊田雄二郎
- 第 1 回 齋藤四郎、島村まり子、榎本貞寿  
藤嶋剛史、井上勝美、永井伸剛 各会員



## 地区会員増強維持部門 新入会員紹介 表彰状授与

大熊 雄喜 会員



## 誕生日祝い 11月生まれ

小熊 一(1日)、兒玉龍治(9日)、荒井理人(10日)  
円谷友香(11日)、清水恒信(13日)、緒方 学  
(14日)、冷牟田正見(16日)、小島 徹(20日)  
中村健一(20日)、関根正美(23日)、北川敏也  
(25日)、大楽 剛(30日)、風岡 洋(30日)各会員



お誕生日、おめでとうございます！

## ロータリーの友の解説

公共イメージ向上委員会  
兒玉 龍治 会員



「友」の構成は、横組みが国際ロータリーからの情報、縦組みが日本国内の投稿となっています。

～横組みから～

■3 ページ 国際ロータリー会長メッセージから。

・2019年6月にドイツ・ハンブルグにて第110回ロータリー国際大会が開催されます。詳細につきましては、44ページにも記載ありますのでご一読ください。

■7 ページから、ロータリー財団についての特集が組まれています。

・国際ロータリーのロータリー財団は15人の管理委員により運営されていますが、日本からは、浦和東RCの北会員が任命されているようです。8ページからは北会員の話が掲載されており、日本の地区財団活動資金の問題点が語られています。問題点とは、使われなかった活動資金が少しずつたまった結果、日本全体で800万ドル(日本円で9億円ほど)の資金が残っているそうです。これをもっと有効活用してほしいとの内容です。

・10ページ以降は、この地区財団活動資金を原資とした地区補助金の活用方法につき、各地区の補助金委員長や財団委員長の話が掲載されていますのでご一読ください。

■18 ページからはポリオ撲滅の最新状況について掲載されています。重要な点ですが、

・先ず1点目は、23ページに書かれていますが、ポリオ患者の200人に一人が回復不能な麻痺を発症するという事です。

・2点目は、25ページに書かれていますが、30年間で、ポリオ常在国の数は、125カ国から3カ国まで減らすことができたということ。今、健康に暮らしている人で、1988年以降、ロータリーなどのポリオ撲滅活動が無ければポリオによって麻痺を発症していた人は1,740万人いるということです。

～縦組みから～

■4 ページ(横組み73ページ) 「児童虐待の実情」について、児童養護施設 大村子供の家副施設長である松本幸治さんの話が掲載されています。

・松本さんは、2014年～2015年度、国際ロータリー財団地区補助金奨学生として、イギリスのエジンバラ大学院へ留学し、カウンセリングコースで1年2カ月勉強されています。

## イニシエーションスピーチ

風岡 淳一 会員



東京都東久留米市で生まれました。父は新潟県水原町（現阿賀野市）、母は茨城県日立市の出身です。小学校6年生の時に武蔵村山市に転校して今も実家がそこにあります。

中学まで地元の公立中学校に通い、高校は中央大学付属高校、大学は中央大学法学部法律学科に行きました。大学時代に妻と知り合いました。大学時代はどちらかといえば大学生活になじめず、彼女はできましたが、あまり友達はできませんでした。サークルも1年で辞めました。何をしていたかという、アルバイトをして彼女と旅行したり遊んでばかりいました。アルバイトは山梨のホテルで宴会場のサービスをやっていました。当時は人手不足だったのかいろいろ手当がついて1日2～3万円くらいの給料でした。大学生活になじめなかったことは何気に劣等感を感じていました。普通に就職してもなじめるかどうかかわからないし、大学時代に何かをやったという結果も残していないので、そういったいろんな思いがあり、安易な考えですが資格を取って自分で仕事をやろうと思い不動産鑑定士の試験を受けよう決めました。

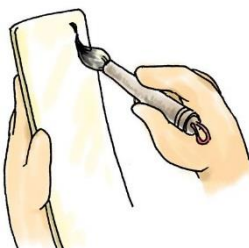
卒業後の7月に2次試験を受験し、合格発表までの11月までの間にやる事がなかったのでアルバイト探していたところ、たまたま募集していた不動産鑑定事務所で日給8000円のアルバイトをすることになりました。結局その年の試験は合格することができず、もう一年アルバイトを続けながら勉強をすることになりました。翌年の2次試験が終わった後、（卒業後裁判所事務官として働いていた）妻が職場の先輩と一緒に九州に来てくれとプロポーズされたので今結婚しないなら、その人と九州に行くといわれ、アルバイトという分際で結婚してしまいました。結婚をきっかけに妻の親が住んでいる埼玉県さいたま市に居住することになりました。幸いその年2次試験に合格し、今度は国、東京都、市町村、裁判所、税務署、UR等役所等の仕事を中心にやっている鑑定事務所に就職しました。

平成17年8月にさいたま市浦和区で独立開業し、現在14期目です。開業当初は不良債権の売買に伴うデューデリジェンスが大量に行われている時代で担保となっている不動産の調査の仕事が大量に引き受けていました。日本全国の地方銀行や信用金庫の不良債権ですので、物件は日本全国で、この仕事で北海道から沖縄まで47都道府

- 元々は大学卒業後、JICA（ジャイカ）に入構、開発途上国の支援に従事し、紛争後のトラウマに苦しむ人や差別に苦しむ途上国の障害者と出会い、「カウンセリング」の持つ可能性を感じ、もっと勉強したいと考え、ロータリー財団の奨学金に応募したそうです。
- 現在は、児童養護施設 大村子供の家では、保護者のいない児童、家庭で虐待を受けていた児童、環境上、養護を要する児童と共に生活していますが、虐待を理由に入所する子供が6割を超えているのが実情だそうです。
- 全国の状況を見ても、児童相談所の届く虐待相談件数は過去25年で増加の一途をたどり、2016年度はついに12万件を超え、現在も増え続けているそうです。
- 虐待は男性、父親によるもの、というのが一般的なイメージですが、虐待を行う当事者は現在、母親が主だそうです。数で言えば、ほぼ半数以上の虐待が母親により行われているようです。
- 今年のニュースでも、5歳の女の子が両親の虐待により死に至ったケースがありましたが、「もっと明日はできるようにするからもうお願い許して」と書いたノートが見つかったときには、私も小さな子を持つ親として胸が締めつけられるような思いでした。
- 松本さんがロータリーに期待することは、ロータリーが子供に対して社会的相続を行ってほしいということだそうです。社会的相続とは、日本の伝統文化・地域が育んできた文化を子供たちに継承していくことであり、地域のお祭りひとつをとっても、ロータリアンが介入して子供たちへ、今までの歴史や文化を伝えてほしいと訴えています。
- 個人的には、ロータリーの奨学金が松本さんのような志の方に使われていることを誇りに思うと同時に、冒頭申し上げた地区財団活動資金並びに地区補助金が、このような子供たちの為にもっともっと活用されることを期待したいと思いました。

■22 ページ（横組み 55 ページ） **ロータリー歌壇で、当クラブの川鍋 一夫会員の歌が紹介されています。**

※ 週報の巻末にてご紹介しております ※





県全て行きました。物件もゴルフ場、パチンコ店、レジャーホテル、テーマパーク、動物園、温泉旅館等いろいろありました。仕事は黙っていてもどんどん来て、来た仕事は断らず全て引き受けていました。こんな感じで仕事をしていましたので、毎日どこかへ出張か、浦和にいたときでも徹夜で仕事とかしていましたので、ほとんど家に帰ることがなくなりました。結婚した当初は今日は食事いらないとか連絡していたのですが、いつの間にか連絡もせず毎日家に帰れないという日々が続きました。その後平成 20 年にリーマンショックがあり、このような仕事はぱったりとなくなってしまい収入も激減しました。暇なので毎日早く家に帰ると、もはや家に居場所はなくなっており、一人で大宮周辺で飲んで時間をつぶして帰るようになりました。

大宮の名店「3月3日」で飲んでいたところ、清水パストガバナー補佐と出会いました。清水パストガバナー補佐はロータリークラブの話熱く語られ、会員候補として推薦すると私におっしゃっていました。酒の席でしたので冗談だと思っていたのですが、その後1年くらいずっと誘われ続け、浦和の私の事務所にも何回もきて頂き、その情熱に感動し、こんな熱い方と同じクラブに入りたいと思い入会を希望しました。

仕事はリーマンショック後結構長い間低迷していたのですが、最近は役所・民間ともに徐々に拡大してようやく去年はリーマンショック前を超える売り上げとなりました。役所の仕事はさいたま市の固定資産税評価員、国税局の路線価を決めるための評価、埼玉県・市の用地買収、国税・市税の滞納処分公売、裁判所の賃料増減額請求事件の鑑定評価等です。民間の仕事は保養所や社宅の売却のための鑑定評価、同族間や関連会社間で資産を譲渡する際の鑑定評価、賃料増減額、民事再生、遺産分割、共有物分割請求の際の鑑定評価等を最近やっています。

秋元康さんの「人生とは何かかんがえてみた」という講話を昨年聞いたのですが、「人生とは目撃することだ」とおっしゃっていました。大宮西ロータリークラブには社会的に立派な方ばかりですので、クラブの例会や奉仕活動に参加することによって行動を共にし、このような方々の生き方・考え方を目撃していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

多くの生き方・考え方を  
目撃しよう！



## 北川 敏也 会員



昨年5月より、お世話になっております、野村證券の北川でございます。会社の場所は大宮駅東口から徒歩5分程度の「さいたま支店」と、大宮高島屋さんの向かいでツタヤさんの1階の「さいたま支店大宮東口店」ですが、加えて本年4/1より大宮西口支店がさいたま支店に統合された事もあり、現在は社員数約160名となっております。当社は県内に7店舗ありますが、他の6店舗は全てリテール店舗であり、さいたま支店はリテールチャンネル約100名に加えて、銀行や信金・信組・JA・地方公共団体等を担当する法人課、更には県内上場企業を担当する企業金融課というチャンネルがあり、カバーエリアは埼玉県全域と東京都内となっております。

さいたま支店には昨年4月に着任しましたが、入社は1995年で就職氷河期と言われた時代でした。入社後の最初の赴任地は名古屋駅前支店で丸4年いましたが、結婚したのが最初の赴任地時代でもあり、非常に思い出深い地となっております。その後京都支店に2年、日本橋本社の従業員組合専従で3年、川口支店に2年、姫路支店に3年半、その後初めての支店長を田園調布支店長で2年、日本橋本社の人事部に2年、高松支店長で2年、大手町本社でエリアマネージャーという首都圏地区(東京・埼玉・千葉・群馬・茨城)の統括を1年、そして昨年4月にさいたま支店長として赴任して参りましたので、現在が10部署目となります。

申し遅れましたが、私は生まれも育ちも東京都練馬区、1972年生まれの45歳です。学生時代は体育会アメリカンフットボール部に在籍していました。入学当時は大学日本一を取り続けていた、所謂本格的な体育会系で年間通じて休みは毎週月曜日のみ、練習時間は15:00~20:00位で遅いと時計の針が12時をまわる様な練習量でした。4年間日本一を目指して取り組んで参りましたが、残念ながら叶わず卒業となりました。

小学校・中学校時代は野球部に在籍していましたが、この野球部も全国レベルの強豪チームであり、上下関係が大学時代よりも寧ろ厳しいところでした。高校時代は厳しい中学時代の部活動の反動で男女混合の部活である陸上部に在籍し総勢50名位の部員を抱える部の主将も務めておりましたが、やはり何か物足りなく学生時代の不完全燃焼感があった事から、学生時代最後に悔いがない事をやりたいとの事で大学での体育会アメリカンフットボール部の入部に繋がった状況でした。よく、誤解されますが、決して肉体的・精神的苦痛が好きなのではなく、最後の学生生活に学生時代しか没頭できない事にチャレンジしたい

と思っただけであります。

家族は、家内と高校3年生の長男、小学校1年生の次男の4人家族です。単身赴任が合計7年近くになる事もあり、家では長男が父親代わりとなっています。

最後に RC 歴ですが、高松支店長時代に高松 RC で2年お世話になり、当初1年間は親睦活動委員、次の2年目は副 SAA でお世話になりました。まだまだ未熟者でございます、先輩皆様の御指導を今後とも宜しくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。



### 廿野 幸一 会員

昨年度に入会させて頂き、入会二年目になりました廿野と申します。現在、東京都荒川区町屋に在住し、仕事場は東京都千代田区神田で JR 神田駅の近くです。もともとは、旧浦和市の浦和競馬場の近くに結婚するまで住んでいまして、父は大宮市出身です。



大宮西ロータリークラブに入会させていただいたキッカケは、清水恒信パストガバナー補佐の紹介でして、清水おじさんは、私の父親の妹のご主人です。5年前の父の法事の際に、フェイスブックでつながったことが大きかったと思います。ある時、メッセージで、ロータリークラブの職業奉仕について書かれた文章が送られてきて「一緒にやろう」とお誘いいただき、入会させていただきました。ぜひ、お友達になっていただければと思っています。

廿野という名前は、珍しく、初対面で読める人は今まで一人もいないのですが、これは埼玉県の名前のひとつだそうです。インターネット調べでは、日本全国で約180人いて埼玉県が一番多いそうです。我が家は、妻と3人の子ども(大学一年の息子、高校一年の双子の娘)が居ます。3人も今、一年生で昨年からの3月まで全員受験生でした。娘二人は年ごろになってきましたが、まだパパと仲良くしてくれています。「パパと3人でディズニーランドに行っても良いよ」と言ってくれています。これは、娘には全力で尽くしている結果が実っているものと信じています。趣味は、現在あまり無くてつまらない人間なのですが、強いて言えば、スポーツが好きで観戦かなと思っています。良く文科系の人間だと思われることが多いのですが、野球とアメリカンフットボールが好きです。高校まで野球部に所属し、甲子園出場には程遠かったですが一生懸命練習しました。大学卒業の22歳から10年間、クラブチームでアメリカンフットボールをしていました。

仕事は、税理士をしており、その中でも相続税・資産税を専門としております。経歴は、平成7年に相続税専門の会計事務所へ就職して、平成23年に独立して現在に至っており、23年間ずっと相続税・資産税を専門に仕事をしております。相続税は今、税務調査の季節と言われており、現在数件の税務調査の対応をしています。税務署は、お土産を渡さないと帰って行かない、調査が終わらないと言う話を聞きますが、私の方針は、お土産は一切渡さない、納得のいかないことは徹底的に戦う方針を貫いております。特に相続税はグレーゾーンが多くて、税務調査の対応次第で結果が変わってしまいやすい税金なので、税務署との対応の仕方が重要となってきます。そんな、税務調査官にとっては煙たい税理士なので、今まで何度も税務調査官から脅かされたことがありました。そんないい加減な要求には応じられないと突っぱねていると、いきなり、「調査妨害する気か！私が調査妨害したって上司に報告しても良いのか！」と怒鳴られたり、ある時は、「税金1000万円修正しろ、応じられないなら司法に委ねる、税務訴訟する！」と強く出てきて、こちらから「承知しました。審判官の判断に委ねたいと思います」と裁判しましょう(正確には不服審査請求)というので、翌日、修正なしと電話がかかってきたり、逆に、調査官の対応があまりにも酷くて、税務署長も動いてくれなかったのので、国税局長あてへクレーム文書を提出して態度を改めてもらったという事もありました。

こんな話ばかりしていると、こいつ、年がら年中喧嘩ばかりしている税理士なのかと勘違いされそうなので、真は、平和主義者だという事を補足させていただきたいと思います。

相続の仕事では、家族内を税務署とも揉めない正しい対策をしていただくよう“予防”に力を入れています。予防のひとつは、皆さんに遺言書の作成をお勧めするようにしています。『遺言さえあれば、たとえ仲が悪かったとしても、こんなに揉めなくて済んだのに』という相続を見てきた経験から、遺言書の作成を強くお勧めするようにしています。

もうひとつの予防は、セミナー講師による正しい相続対策の啓蒙活動です。日本FP協会の東京支部に所属しておりまして、定期的に一般生活者向けへ無料セミナーなど実施していきまして、この講師を担当しています。正しい対策、遺言の作成をして欲しく、いろいろなところでセミナー講師をして啓もう活動しています。これは、ロータリークラブでいう「職業奉仕」の理念と一致するものか分かりませんが、『今の自分の仕事を通して、世の中の人たちのお役に立ちたい』という思いで参加協力しています。

このFP協会の埼玉支部で、同様のイベントが今



熊谷の最高気温日本一  
すでに災害なり避難所にゆく

埼玉・大宮西 川鍋 一夫

気象予報どおりに、熊谷の気温は結果的にいつも日本一。すごい地域だと思いが、現地で暮らす人はたまったものではない。この歌にはその現地の声が「すでに災害なり」とうたわれ、なるほど、と納得できた。自宅のエアコン一つでは厨房にもトイレにも立てぬほどの苦しみだろう。炎暑により開かれる炎昼の避難所の存在など、予測できた人がいたろうか。どこか怖（おそろ）しいことにつながっていきそうなる異常気象ではあった。

週末にソニックシティで開催されます。

ロータリークラブに入会させていただいて、入会時に義務付けられた例会出席率を上げることに一生懸命な現状で、社会奉仕委員会と職業奉仕委員会に所属しているものの中々貢献できてない事を反省しております。これから、一つ一つ、自分に出来ることから参加していきたいと思っておりますので、ご指導よろしく願いいたします。

## 清掃活動実施報告 女子部会

2ヶ月ぶりの早朝掃除でした。空が少しずつ明るくなる中、女子会メンバー、いつもの応援団男性軍、初参加の新藤信夫会員も集合し、大宮西口を綺麗にしました。終了時には晴れ間も出て、清々しい朝となりました。



ゴミとの記念撮影。皆さん、お疲れ様でした！

<次回清掃> 12/3(月)6:30~  
ご参加の方は軍手・ゴミ袋ご持参下さい。  
お待ちしております!!